

殘ル雜人十六七人打取川ヲハ不越シテ扣タリ淺井ハ人数
圓メ備前殿本陣へ引来ル義作力振舞無比類ト感シ玉フ
敵モ稻葉山へ人数ヲ納ル兔角ニ長政ノ運ツタナシ去程ニ
磯野丹波二千余騎佐和山へ引入ル先勢ハ摺針峠ニ旗
ヲアクル義禎是ヲ聞テ何トシテ備前ハ義濃ヲハ引拂是へ
向ケルヲ執籠メラレテハ叶間敷ト乱引ニ引ケリ磯野追
カケレト早落延テ十二三騎殘リケルヲ打取リ小谷ヨリ
通りケレ

右江濃記以一古寫校合

江北記

當方御代々次史

- 一勝樂寺殿高氏ト申ハ道譽ノ御事也御息近江守殿
- 秀綱ト也
- 一秀深ノ御舎弟高橋次郎殿其御次仙林寺殿秀宗
- 申御家督トト持也高詮中務兼備
- 一仙林寺殿御息三郎殿能仁寺殿御家督ト持也
- 一能仁寺殿御息勝願寺高光殿御家督ト被持也
- 一勝願寺殿御息真雲寺持光殿御家督ト持也
- 一真雲寺殿御息宝性寺持隆殿御家督ト持也

但真雲寺殿所息依之河原所舍實寶性寺殿之河
養子之也此也

一滿願寺殿高教上中八勝願寺殿之御舍也室性之友

六郎殿之御若年之時少之乃治名代之御也

一正覺寺殿勝秀卜十八寶性之友所息殊所嫡子也其御

次大膳政經之友之御次通照寺殿之八黑田之御養子

作之御次高清與殿宗意尚國初乱より所家督

之御次高清與殿宗意尚國初乱より所家督

一待山五六十年之間歟
一大膳之友所嫡子治初林宗殿之次者童子殿也

一近江守殿秀綱也所息秀詮氏詮津國之渡邊各
戰之河原兄弟之御討死也

根本當方被官之事

今井 河毛 今村 赤尾

坂 安養寺 三田村 弓削

濱井 小野八郎 河原九郎 二階堂

一乱初御被官冬人元事

安藏前三条友清見智友 弓削武部 伊吹源正細川

渡邊 平田但一乱

近年所被官冬人元之事

東菰富山友 狩野明應三年より 今井越前 今井十所 細原

西野六角友 布施俊中 小足京元次供使也

高宮京元次 隠岐五郎義清の子孫也當方外家子也

一 秀敏乃登山金見の流也 慶増大原同在表極厚麻子

文明二年庚寅 當國神乱之事

一 下坂進退之事久同乃以文明三年高忠 多賀忠後

方下坂 乃成此間皮伝穢之事 但文秀下坂 雜討之事

也

一 右中乃治 乃後下坂取願寺所左兼州尉史注記

一 者他言と作り 在成以今此次郎親俊後身事也皮

被官西村と始也 種く意を仕お状と下其の能号

一 伝穢し付由く文昭十四年と同乃事

一 文明十四年と秀維甲良上江に儀し付中郡へ

一 亦越後正以所務仕由中郡に付也

一 文明十七年秀隆者宇治へ引給ひ乃方子一

一 名代御座形様へ別取ひしに種く各事之扱

一 異見よりり也

一 右中乃秀 雜中郡へ越後とて任他事と名同乃

一 故多賀玄淵四所大成とて同乃中坂代官穢

一 お抱皮の庄競也ふお果ひる漢史為人今の俊也

親事也及依合方上及大儀下坂屋敷と責る者
 也是ハ文明の事也然る處多賀方より如本
 意より付由扱方より其の如にきまらるる
 時宜にお果の間下坂私宅へお討と入焼落し
 名也是ハ文明十八年四月廿八日お討の事也任記
 ハ決所を後右より元ノ成との時事也于一事ハ決所
 為人解也然る從ニ雲津出張よりハ丁野ノ令任
 宅名也

一文明十七年お贈親事ノ事一御付七隈山寺殿山
 上へ御道世ハ國元志齋種よりより教海と云

御傳ノ事

一文明十八年八月十七日多賀大成欲生害ノ付
 少く其趣ニ雲へ御付ありて其成出ノ事

一同年十月二日後ニ雲津出張より其達中御意
 志也此時秀隆ハ守海より其越御供仕對本之
 下坂の御職知り仕也其ノ事野本所方為御
 示御代官職と御付長享三年よりより御仕
 者也其時三田村ハ多賀大成一味を穿人也

一長享元年四月三日大成濃列より入國ハ陣
 不ハ中野方の又ニ席ハ國友共庫助屋敷ハ陣

環山寺殿五月朔日、皮屋交、御責比、交に中野上
重掛り人救と於國友河原、及治合戦、教多し付
捕ひ、去刻中野へ御馬と被向大成、於月、漸お果
為居比

一長享二年八月、光禄中群松尾と、御出張、作
繼、其失利と、御退也

一長享三年、上坂治、上坂治、見破野、深心忠、及未三人
一人、成、環山寺、殿、祇園より、余、兵、庄へ、御取退比
於、余、兵、成、御、調、雖、出、張、比、依、心、成、其、失利、つる

一人、御、取、退、比、其、より、坂、下、二、六、年、し、る、御、軍
長享三年、ノ、延徳、ニ、改、元、アリ
延徳四年、ノ、明應、ニ、改、元、アリ

一明應二年九月、廿二日、環山寺、殿、持是院、合、力、中、濃、列
より、御、入、國、比、其、射、御、本、意、比、秀、隆、御、供、り、其、比、
中、坂、迄、織、と、知、り、比

一明應四年、秋、丹波、合、力、南、院、兵、五、高、初、合、戦、
失、勝、利、乃、環山寺、殿、多、良、一、御、軍、人、比、十八、日、間
御、責、比、故、り、被、射、御、本、意、比、朝、倉、合、力、り、志、也

一明應五年、持是院、南へ、兵、取、掛、事、一、八、前、齊、藤、丹
波、と、合、力、儀、志、念、し、由、り、其、掛、比、得、り、其、失利、之、正、解

落居の樋口陣と申は時事也同年此秋下坂
右馬元忠等仕り秀隆正出軍人相居也環山寺
持是院御合カシク同年十二月七日東津軍人
以て四年此乃海津上御軍人也

一明應八年七月十八日環山寺及自海津御合上
坂治部致味方山奈ら對御本意也御供々念也
舟口城前守演見特野々外御馬道也

一樋口陣之後、秀隆正末臨下引籠り文龜元年
六月三日合戦陣也其時致出次六月二日合戦了
忠義仕也此時下坂右馬元忠同乃也

一六月合戦元龜^{上西流中本體}上治と申は日清武三田村河毛後了

坂之外元也六月十七日之夜今井館へ海女備後
懐列いびより、武成神が今濱へ被立掛、先勝利
也也環山寺及、今濱上御座也

一文龜二年治部女備後南より合カシ出張也其
時色不致遂津本意御取退也其以後下坂三所今
の六郎の親元馬助事也上坂治了、乞入抱立也
也秀隆先く此同乃成由種く臨り、大御依□皆不
事、重ひ今濱へ与カシ

一永正二年治部女備後南より御出張也九里大吏

己不佛供より先利同年冬泚和眩成光
於箕浦日光寺に泚系會也是より二十五年
之事也

一 大永三年三月九日大寺寺北梅本坊之事一故
泚井三回村垣今井を外前より率人元泚見
中該小野江の城に菟山今濱より懸安養寺
一書勢と置山處自小野江に掛合戦より以上坂
隨分元救多死に事あり今濱破山環山寺及上作
爲泚同公の間國元惠上平へ系よりや尾北泚城
より泚悉して尾別へ泚を退く大原五郎及と清同

道山六所後よりや尾北泚一系より國元惠
系より上と燒之川よりと海に泚供中神照寺へ
元成泚出處より又泚見泚供申小野江城へ
山出山上年破山時ハ秀隆ハ濃列巻回へ各退山秀真
ハ山所及泚供申小野江へ張越山也

一 文明四年より五年の時分山祖父秀維新左馬
右多賀出雲守とある事也丞相國一威成
敗し處が雲守理不尽山所有し乃ふに泚と雖
中山と兼川等あり河内よりふかと梅川花
山泚濃列より妙珍持玄院へ居越る口入國中へ

其後少者、中後加威敷志也、以之れ、大秋、以より
四月三月、時、命、之、有、由、候。

一、多賀、之、く、次、之、あ、じ、出、雲、事、也、多、賀、豊、後、賀、也、

其、次、大、成、兵、衛、四、所、之、於、丹、波、生、害、其、次、正、雲、四

部、右、京、門、事、一、之、次、四、所、在、衛、門、之、八、月、十、三、日、内

保、合、戦、之、討、死、也。

一、滿、願、寺、之、反、勝、勢、与、之、所、舍、也、法、正、寺、之、所、為、之、

八、伯、父、之、法、座、也、是、より、賀、列、所、家、始、り、也、滿、願、

寺、之、所、息、之、く、て、し、ひ、の、り、所、也、所、養、子、也、七

所、之、續、也、以、之、所、所、之、所、息、也、所、之、所、舍、也、五、所、之、

一、枚、軒、也、也、九、馬、物、之、所、息、也、一、枚、軒、也、息、也、今、乃、長

圓、所、所、隱、指、也、五、所、之、所、息、也、當、之、所、之、所、勝、成、也、也、

一、法、正、寺、之、所、御、幼、也、一、時、滿、願、寺、之、所、代、也、也、

普、光、院、之、所、時、上、意、法、座、也、所、座、也、也、南、方、也、

其、成、所、也、所、之、所、普、光、院、所、生、害、也、也、所、時、所、法、正、寺

之、也、被、立、所、用、所、生、害、也、其、以、後、隱、也、也、多、賀、

豊、後、守、大、也、一、事、一、西、人、之、所、也、所、所、所、所、所、所、

也、也、上、意、一、所、所、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

六、所、之、也、十、四、年、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

御、家、督、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

法にそふる御家督りし世中の以時南方未嘗列
 うく成山同明ら不を法正なる方中者人斗
 ありていふに中より新及より以座以時也
 一當方御家つりし此事一六角殿大原殿を介一系反
 為譽御兄弟也あり子細以象子一と成也然れも
 公方後より尚も唐名代めりれに由り家子とる
 御座形極法とる一と以事あり御座爰に
 くと以事ありといふ大略以一家元同業也以送り
 ありと遠いといふ

二月朔日より 毎月朔日

御座形極法といふの事一而より第一は御着小
 うくそ系也喜びと此御祝也以時御座人を
 せられす中由法座爰に次ありと云ふ由に
 毎月朔日之事一以方御座懸御座以中より
 一五箇句より御對面斗りし中但正月七日十五日
 去てお替款

二月朔日一公方様へ御座形極御禮以りし中
 月由に正月の由くと以事御礼也子是より系
 名也御お侍りし中何も由りし中是より由り次行
 物小袖より以事以時を若めされし中系也

一五月朔日より同日迄八す。此御給を以出仕し由也。

一六月朔日六より末細末御進上也。二端之是當方二端之御進上由事作也。

一而之因之御登形極御前へ在り事ハ此御仕之時と統飯御仕之時より外ハ無之極中ハ近年小八本系事ハ弓方御傳へ御使しより別費に系年始へ御礼中上也。其時辰村岡備守系事ハ小八本尾より推系由也。是ハ嘗謂より環山寺換毛細く注意由也。御在分ハ御表也。

く此乃近年系由也。

一公方様へ御出仕之時御供ハ三騎し由一人御初一人ハ御進上ハ御老力可為御進上ハ一人ハ御進上ハ役三人ハ役也。統飯之時御初仕ハ御供ハ六騎し由。此ハ御供使仕仁御外也。人数ハ表也。少候也。

一當方御家子一系殿高座殿隠岐殿之御分候以外可也。

一馬んち殿多々殿念知殿是ハ御一系也。山中殿より此ら殿也。御供等ハ法敷せり也。慶増

同前あり

一能仁寺殿清舎より五郎左衛門殿と申すは清家督と
 張右衛門殿持山是と金吾うりうりとも也箕浦
 次郎左衛門の事一全右方より依る子細箕箇麻
 子一守云仕成ひつるをむかひ根奉ハ次郎左衛門尉
 手次三郎左衛門の事次郎左衛門とて三人兄弟也
 後乃次郎右衛門殿は節也三郎左衛門ハ後中郎
 祖父俊経時氏方へよりわけて守り後ハ後孫子大
 事ん生害は時相果也四郎左衛門石が箕浦
 与成也

一甲郡清水庄追補所同山の前五ヶ庄

公方嗣下成尚方知りて清代官職と作付ひ
 拙庄當方清本代清代官職と作付お抱ひ
 公方様清系宮し時ハ於水口一清一献と系ひ也

小倉左近將監源實隆詠歌也

号中明寺
六十七歳死去也

三十六首和哥

あふささし父をいれ子の子たが君はははははははは
 西原とを養者とあれは是也おれをよみする奉公とさ
 毎ふりて似合ぬよの長くふまうとて西原とちよの物語は

あはれむしは名をうるといふ人かよき物なまの国をうけ
 ほの世とむしあはれむしは余とわたりてむしはぬ成まの
 ちかひのうらむしは物にうらむしはめてま教地
 酒より此座をよすたれを食してさむか枝のまのた
 毎日哥とあはれむし一首のうらむしはつらむしは
 枝よりまをうらむしはたか人とまをたむしはぬ成まの
 五とまをうらむしはあはれむしは顔まぬ成まの
 うらむしは終る人たれむしは夜うらむしは表ある海
 雑後よ公のあはれむしはむしは言れまのまのまのまの
 学問とまのあはれむしは今日まの明かまの何のまのまの

出家よ、世のあはれむしは是悲とまのまのまのまのまの
 麻とむしは人より後とまのまのまのまのまのまの
 讀書れ終るむしはうらむしは急なむしは進み川
 遠乱をかあはれむしはうらむしはうらむしは親のまの
 何事とまのまのまのまのまのまのまのまのまの
 あはれむしはあはれむしはまのまのまのまのまのまの
 あはれむしはあはれむしはまのまのまのまのまのまの
 大法とまのまのまのまのまのまのまのまのまの
 物よりまのまのまのまのまのまのまのまのまの

其友とてふもつとをも多人のよれもあつても思ひ中
 りもも人のかゝると世をわたりて只万能をつめし
 るは一人にけりよまの事ありてよりいせしとたこれめ
 りしにいつとてふもつとをも遠き被官の事いせ
 秘古の時と定めしするも此をわたりてかかれと謂ふ安
 香と焚死をたてある座ありて志をこころする難談と
 知るも志心のあらまあるせよあしとみまはえを
 行末此人の飛をて舟はよふあるせりしかり此秘るる微
 語の行は盗く世に此言集をて自然の時いふことまねる
 ことありて二乃新ふさありて我鬼と志のよとの書とす
 曲の

世の中此をいふもつとをもつとをいふは知るはつとをいふは
 解れはつとをいふもつとを成るなりかありて人としてかを
 知れ分るるぬありてあ家してあ系國は首殿れ

面主致云菜七首和哥同作

客人の面主にいふと公約を菜は湯をいふと
 當座より耳にいつとわらふ事とあり此人の若ぬ
 ありこれと地養をいふとせんといつと地をいふと
 外よりも悔りてこれ人もあふ悔りていふと魚糸
 りはなまはあはれといふと使ひていふと人といふと誰といふと
 面主といふとこれ人と争ふて我といふとめとあはれといふと

上云中務殿下以若年...
 依云指事...
 下以知免角...
 濟意...
 条令者略以状如件

十二月十日

御判

佐木中務女補殿

天文五年十二月...
 返事...
 返事一葉文...

大略撰家よりいふは...

多礼拜...
 毎由...
 春...
 使...
 来...

十二月廿六日

安綱判

浅井備前守殿

系以敷

天文五年十二月... 天文五年十二月... 右使... 石山回越中守方... 之儀也... 清代之也

右江北記... 本校合印... 卷之三十一

船田前記

凡臣於人而為利祿効忠者其忠不必遂焉故其形似順而其心逆其言似正而其迹邪作之君者見其幾而復之難矣猶如過滔天之浪於涓々之始乎斯盖君者以恩招仇臣者以仇酬恩也何其可乎濃之陪臣石丸利光者勇士也從故持是院妙椿法印是持院諱者妙全確大僧都代宗全公應變鎮浮所嚮必大和尚也天文七年九月一日逝敗群師中鮮有出其右者幕府越前前司齋藤氏利藤因其忠功賜之姓諸子皆稱齋藤由尔列之賦稅貢產委諸一臂咸視之如己有而猶未有謙志僭貪